



行政事務委託料3割 カットは31年度からに

山岡 幹雄 議員

30年度から実施したい

市民協働部長

町名	町内会名	総代	小学校区	コミュニティ組織
町方町	彦作	町方	北河田	藤浪
	佐織台			
	東藤浪		草平	町方
	五軒家第一			
	五軒家第二			
	南堤外			
	北堤外			
	藤浪団地			
	十二城			
	松川			
新西馬	草平			
足立川				
大野山町	大野山	大野山	西川端	川淵
	余代			

▲佐織地区で「ねじれ現象」の起きている地域

複雑な総代とコミュニティ組織があるが、わかりやすい組織にできないか。

市民協働部長 総代制は行政区単位で考えている。コミュニティ組織は、地域の話し合いで見直しをしていただければよい。

総代の引き継ぎハンドブックの計画は。

市民協働部長 新年度の総代会に配付する。

行政事務委託料見直し

の経緯は。

市民協働部長 平成27年度総代連絡調整会議で見直しをする旨の話をし、28、29年度の総代会終了後に説明をした。

29年11月付で、来年度から行政事務委託料3割カットの文書が総代に送付された。1月に年事業が始まる自治会もある。31年度からできないか。

市民協働部長 平成30年度から実施したい。



▲啓発パンフレット

あいさいっ子相談室のPRは

子育て世代の目玉事業、「あいさいっ子相談室」の周知の方法と市外の方へのアピールは。

健康福祉部長 1階の児童福祉課に看板を掲げた。母子健康手帳交付時等の機会や保育園の保護者、子育て関係機関等にチラシを配布、市内外に対しても情報発信をする。

産後のケアについて、市は母親へどのように手を差し伸べているか。

健康福祉部長 出産後、支援の必要な方は医療機関

関に宿泊をして身体のケアや育児サポートを受けられる産後ケア事業を開始した。

母親を応援する取り組みは。

健康福祉部長 子育ての情報発信のための子育てアプリの構築と子育て中の親が市の事業に参加しやすいボランティア、子育てお助け隊の養成を行う。

市長 子育て世代に関する事業は、関係団体、市民からのよりよい支援策を活かし展開していく。

その他の質問

●農業委員と農地利用最適化推進員について